

平成23年第1回定例会  
予算決算常任委員会県土整備企業分科会  
提出資料

○ 議案補充説明

- I 平成22年度最終補正予算について…………… 1
- ・議案第66号「平成22年度三重県水道事業会計補正予算（第3号）」
  - ・議案第67号「平成22年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第3号）」
  - ・議案第68号「平成22年度三重県電気事業会計補正予算（第2号）」
- II 平成23年度当初予算について…………… 4
- ・議案第14号「平成23年度三重県水道事業会計予算」
  - ・議案第15号「平成23年度三重県工業用水道事業会計予算」
  - ・議案第16号「平成23年度三重県電気事業会計予算」
- III 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について… 10
- ・議案第39号「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」
- 所管事項
- I 公的資金にかかる補償金免除繰上償還の実施について…… 11

平成23年3月7日

企業庁

# I 平成22年度最終補正予算について

平成22年度最終補正予算案作成に当たり、決算を念頭において調整を行った結果、水道、工業用水道及び電気事業の概要は次のとおりです。

## 1 平成22年度最終補正予算事業別内訳

(単位:千円)

議案番号及び事業名		収益的収入 (A)	収益的支出 (B)	収益的収支 (A)-(B)	純利益 (税抜き)	資本的収入 (C)	資本的支出 (D)	資本的収支 (C)-(D)
議案第66号関係								
水 道	補正前の額	10,577,469	(9,627,357)	(950,112)	(850,707)	2,819,676	7,787,406	△4,967,730
	補正額	△16,775	(△123,432)	(106,657)	(118,264)	△376,573	△363,902	△12,671
	補正後の予算額	10,560,694	(9,503,925)	(1,056,769)	(968,971)	2,443,103	7,423,504	△4,980,401
議案第67号関係								
工業用水道	補正前の額	6,425,654	5,583,903	841,751	678,336	2,728,280	6,431,255	△3,702,975
	補正額	△81,175	△80,796	△379	4,535	△14,569	735,616	△750,185
	補正後の予算額	6,344,479	5,503,107	841,372	682,871	2,713,711	7,166,871	△4,453,160
議案第68号関係								
電 気	補正前の額	3,352,589	3,643,377	△290,788	△292,770	209,325	600,564	△391,239
	補正額	30,568	△50,557	81,125	82,568	53	△35,254	35,307
	補正後の予算額	3,383,157	3,592,820	△209,663	△210,202	209,378	565,310	△355,932
水 力	補正前の額	2,538,365	2,529,308	9,057	7,864	209,325	593,476	△384,151
	補正額	17,255	△42,891	60,146	62,583	53	△35,049	35,102
	補正後の予算額	2,555,620	2,486,417	69,203	70,447	209,378	558,427	△349,049
RDF	補正前の額	814,224	1,114,069	△299,845	△300,634	-	7,088	△7,088
	補正額	13,313	△7,666	20,979	19,985	-	△205	205
	補正後の予算額	827,537	1,106,403	△278,866	△280,649	-	6,883	△6,883
合 計	補正前の額	20,355,712	(18,854,637)	(1,501,075)	(1,236,273)	5,757,281	14,819,225	△9,061,944
	補正額	△67,382	(△254,785)	(187,403)	(205,367)	△391,089	336,460	△727,549
	補正後の予算額	20,288,330	(18,599,852)	(1,688,478)	(1,441,640)	5,366,192	15,155,685	△9,789,493

※上段( )書きは伊賀水道事業の特別損失5,434,798千円を除いた金額です。

## 2 平成22年度最終補正予算と平成21年度決算額との比較

(単位：千円)

事業	年度	収益的収入 (A)	収益的支出 (B)	収益的収支 (A) - (B)	純利益 (税抜き)	資本的収入 (C)	資本的支出 (D)	資本的収支 (C) - (D)
水道	21決算	12,586,927	10,569,511	2,017,416	1,893,100	3,246,043	9,787,960	△6,541,917
	22最終	10,560,694	14,938,723	△4,378,029	△4,465,827	2,443,103	7,423,504	△4,980,401
	増減	△2,026,233	4,369,212	△6,395,445	△6,358,927	△802,940	△2,364,456	1,561,516
工業用水道	21決算	6,514,960	5,971,130	543,830	415,856	2,307,212	5,272,957	△2,965,745
	22最終	6,344,479	5,503,107	841,372	682,871	2,713,711	7,166,871	△4,453,160
	増減	△170,481	△468,023	297,542	267,015	406,499	1,893,914	△1,487,415
電気	21決算	3,070,934	3,370,090	△299,156	△301,882	56,712	613,151	△556,439
	22最終	3,383,157	3,592,820	△209,663	△210,202	209,378	565,310	△355,932
	増減	312,223	222,730	89,493	91,680	152,666	△47,841	200,507
水力	21決算	2,287,838	2,117,247	170,591	157,969	56,712	606,402	△549,690
	22最終	2,555,620	2,486,417	69,203	70,447	209,378	558,427	△349,049
	増減	267,782	369,170	△101,388	△87,522	152,666	△47,975	200,641
R D F	21決算	783,096	1,252,843	△469,747	△459,851	-	6,749	△6,749
	22最終	827,537	1,106,403	△278,866	△280,649	-	6,883	△6,883
	増減	44,441	△146,440	190,881	179,202	-	134	△134
合計	21決算	22,172,821	19,910,731	2,262,090	2,007,074	5,609,967	15,674,068	△10,064,101
	22最終	20,288,330	24,034,650	△3,746,320	△3,993,158	5,366,192	15,155,685	△9,789,493
	増減	△1,884,491	4,123,919	△6,008,410	△6,000,232	△243,775	△518,383	274,608

### (1) 水道事業

収益的収入において、平成22年4月からの料金改定及び伊賀市水道事業への一元化に伴う給水収益の減少により前年度に比べ収益が減少します。

一方、収益的支出において、伊賀市水道事業への一元化に伴う特別損失の増加により前年度に比べ費用が増加します。

収入が減少し、費用が増加することから、純利益は、前年度決算額より63億5,892万7千円減の44億6,582万7千円の純損失となる見込みです。

### (2) 工業用水道事業

収益的収入において、平成22年1月からの北伊勢工業用水道の料金改定に伴う給水収益の減少により前年度に比べ収益が減少します。

また、収益的支出において、南伊勢工業用水道事業の廃止にかかる特別損失の減などにより前年度に比べ費用が減少します。

収入の減少に比べ、費用の減少が大きいことから、純利益は、前年度決算額より2億6,701万5千円増の6億8,287万1千円となる見込みです。

### (3) 電気事業

水力発電事業については、収益的収入において、平成22年4月からの料金改定などに伴う電力料の増加により前年度に比べ収益が増加します。

また、収益的支出において、三瀬谷発電所水車発電機内部点検手入工事にかかる修繕費の増などにより前年度に比べ費用が増加します。

収入の増加に比べ、費用の増加が大きいことから、純利益は、前年度決算額より8,752万2千円減の7,044万7千円となる見込みです。

RDF焼却・発電事業については、収益的収入において、RDF処理料金の増加により前年度に比べ収益が増加します。

また、収益的支出において、三重ごみ固形燃料発電所の管理運営業務委託料の年割額の減少により前年度に比べ費用が減少します。

収入が増加し、費用が減少することから、純損失は、前年度決算額より1億7,920万2千円改善し、2億8,064万9千円となる見込みです。

なお、電気事業全体の純損失としましては、前年度決算額より9,168万円改善し、2億1,020万2千円となる見込みです。

### 3 志摩市水道事業への一元化に伴う重要な資産の処分について

志摩水道用水供給事業を志摩市水道事業へ一元化することに伴い、次の資産を譲渡します。

※ 参考 議案第66号 抜粋

(重要な資産の処分)

第8条 予算第12条に次のように加える。

	種 類	名 称	数 量	処分の態様
処分する資産	土 地	志摩水道磯部浄水場用地外 (志摩市磯部町恵理原外)	357,180.84 m <sup>2</sup>	譲 与
	建 物	志摩水道磯部浄水場管理本館外 (志摩市磯部町恵理原外)	2,882.24 m <sup>2</sup>	〃
	構 築 物	志摩水道に係る取水、導水、浄水及び送水施設外 (志摩市磯部町恵理原外)	1 式	〃
	その他の設備	上記のほか、志摩水道に係る事業用資産	1 式	〃

処 分 の 日 平成 23 年 4 月 1 日

## Ⅱ 平成23年度当初予算について

### 1 水道事業会計【議案第14号関係】

#### (1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	10,604,027	10,089,154	△514,873	
営業収益	10,370,809	9,878,432	△492,377	志摩一元化による減
営業外収益	233,218	210,722	△22,496	他会計補助金の減
収益的支出	14,912,362	11,010,540	△3,901,822	
営業費用	8,188,453	7,546,565	△641,888	志摩一元化による減
営業外費用	1,543,071	1,531,975	△11,096	支払利息の減
特別損失	5,178,838	1,930,000	△3,248,838	伊賀一元化と志摩一元化に伴う除却損の差
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△4,308,335	△921,386	3,386,949	
純利益	△4,432,056	△940,272	3,491,784	
資本的収入	3,001,398	3,826,180	824,782	
企業債	624,000	—	△624,000	北勢広域水道拡張費の減
補助金	178,107	—	△178,107	北勢広域水道拡張費の減
出資金	2,190,418	2,068,555	△121,863	北勢広域水道拡張費の減
負担金	—	25,495	25,495	南勢水道拡張費負担金の皆増
固定資産売却代金	8,873	—	△8,873	固定資産売却代金の皆減
雑収入	—	1,732,130	1,732,130	志摩一元化繰上償還に係る収入の増
資本的支出	8,677,490	9,310,485	632,995	
建設改良費	2,680,592	1,912,742	△767,850	業務設備改良費及び北勢広域水道拡張費の減
償還金	5,996,898	7,397,743	1,400,845	志摩一元化繰上償還による増
資本的収支差	△5,676,092	△5,484,305	191,787	

#### (2) 主要事業の主な内容

##### ①計画的な施設改良の推進

予算額 1,753,856千円

将来にわたり水道用水の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、管路や浄水場などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、主要施設の耐震化対策を重点的に進めるとともに、耐用年数を経過した電気・計装・機械設備の更新等を実施していきます。

##### (耐震化対策)

177,366千円

- ・水管橋耐震補強工事等(五十鈴川他) 156,156千円
- ・高野浄水場沈殿池耐震補強工事 14,910千円 他

##### (老朽劣化対策)

1,340,443千円

- ・高岡加圧ポンプ所電気設備改良工事 115,090千円
- ・勢和加圧ポンプ所ポンプ制御盤他改良工事 106,260千円 他

##### (その他)

236,047千円

- ・内径700 耗送水管布設替工事(伊坂) 93,324千円
- ・内径700 耗送水管布設替工事(小牧町) 49,543千円 他

##### ②拡張事業の推進

予算額 25,495千円

南勢水道拡張事業について、平成27年4月からの給水開始に向けて計画的・効率的に事業を推進します。

##### (南勢水道拡張事業)

25,495千円

- ・送水管路測量設計業務委託(丹生) 15,120千円
- ・丹生加圧ポンプ所用地費 3,150千円 他

③「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

予算額 57,539 千円

長期経営ビジョンに基づき、水道・工業用水道事業における技術管理業務の包括的な民間委託の取組を進めます。

(技術管理業務の包括的な民間委託)

57,539 千円

北勢水道事務所管内の浄水場等において導入した技術管理業務の包括的な民間委託について、受託者と緊密な連携のもと適切に指導・監督を行い、安全・安定供給の継続に努めます。今後更なる委託範囲の拡大を進めます。

・統括運転管理及び浄水場等管理業務委託

57,539 千円

※工業用水道事業会計負担分を含めた予算額は 228,294 千円

## 2 工業用水道事業会計【議案第15号関係】

### (1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	6,401,713	6,346,347	△55,366	
営業収益	6,314,948	6,298,424	△16,524	水道事業施設利用料の減
営業外収益	55,953	39,844	△16,109	受取利息の減
特別利益	30,812	8,079	△22,733	施設撤去に伴う補償費の減
収益的支出	5,900,864	5,865,725	△35,139	
営業費用	5,153,588	5,185,932	32,344	負担金の増
営業外費用	662,268	643,793	△18,475	支払利息の減
特別損失	83,008	34,000	△49,008	取水施設撤去工事費の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	500,849	480,622	△20,227	
純利益	356,020	382,830	26,810	
資本的収入	2,858,647	2,690,400	△168,247	
企業債	1,247,000	1,225,000	△22,000	水源費特別対策支援債の減
補助金	263,700	251,500	△12,200	北伊勢工業用水道第二次改良費の減
出資金	1,316,078	1,211,394	△104,684	長良川河口堰水源費の減
負担金	31,500	—	△31,500	工事負担金の皆減
固定資産売却代金	369	868	499	用地売却代金の増
雑収入	—	1,638	1,638	工事受託金の皆増
資本的支出	7,070,254	6,853,754	△216,500	
建設改良費	3,413,058	3,116,091	△296,967	北伊勢工業用水道改良費の減
償還金	3,657,196	3,737,663	80,467	繰上償還の実施に伴う企業債償還金の増
資本的収支差額	△4,211,607	△4,163,354	48,253	

### (2) 主要事業の主な内容

#### ① 計画的な施設改良の推進

予算額 2,714,438 千円

将来にわたり工業用水の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、管路や浄水場などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、主要施設の耐震化対策を重点的に進めるとともに、耐用年数を経過した電気・計装・機械設備の更新等を実施していきます。

#### (耐震化対策)

1,403,370 千円

・水管橋耐震補強工事等(鈴鹿川他)

888,813 千円

・千本松原取水所改良工事(二期)

234,681 千円 他

#### (老朽劣化対策)

877,729 千円

・木造取水所受電・予備発電設備等改良工事

137,281 千円

・内径 800 耗配水管布設替工事(一期・曙)

85,575 千円 他

#### (その他)

433,339 千円

・配水管布設工事(二期・力尾)

289,785 千円

・内径 300 耗配水管布設替工事(一期・川越)

53,616 千円 他

#### ② 「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

予算額 170,755 千円

長期経営ビジョンに基づき、水道・工業用水道事業における技術管理業務の包括的な民間委託の取組を進めます。

(技術管理業務の包括的な民間委託)

170,755 千円

北勢水道事務所管内の浄水場等において導入した技術管理業務の包括的な民間委託について、受託者と緊密な連携のもと適切に指導・監督を行い、安全・安定供給の継続に努めます。今後更なる委託範囲の拡大を進めます。

- ・ 統括運転管理及び浄水場等管理業務委託

170,755 千円

※水道事業会計負担分を含めた予算額は 228,294 千円



### 3 電気事業会計【議案第16号関係】

#### (1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	3,222,497	3,117,549	△104,948	
営業収益	2,320,301	2,264,203	△56,098	基本料金改定による減
附帯事業収益	884,209	843,378	△40,831	RDF搬入量の減
営業外収益	17,987	9,968	△8,019	受取利息の減
収益的支出	3,716,007	3,295,161	△420,846	
営業費用	2,267,301	2,001,459	△265,842	委託料の減
附帯事業費用	1,142,637	1,075,739	△66,898	管理運営委託料の減
営業外費用	245,176	215,963	△29,213	支払利息の減
特別損失	58,893	—	△58,893	川上発電所撤退に伴う除却損の皆減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△493,510	△177,612	315,898	
純利益	△495,658	△195,301	300,357	
資本的収入	209,325	34,090	△175,235	
長期貸付金償還金	46,798	34,090	△12,708	
雑収入	162,527	—	△162,527	川上発電所撤退に伴う精算金の皆減
資本的支出	604,030	718,151	114,121	
建設改良費	50,184	216,147	165,963	三瀬谷発電所改良費の増
償還金	553,846	502,004	△51,842	
資本的収支差額	△394,705	△684,061	△289,356	

#### 【参 考】

##### (水力発電事業)

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	2,338,038	2,273,943	△64,095	
営業収益	2,320,301	2,264,203	△56,098	基本料金改定による減
営業外収益	17,737	9,740	△7,997	受取利息の減
収益的支出	2,572,834	2,219,023	△353,811	
営業費用	2,267,301	2,001,459	△265,842	委託料の減
営業外費用	244,640	215,564	△29,076	支払利息の減
特別損失	58,893	—	△58,893	川上発電所撤退に伴う除却損の皆減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△234,796	54,920	289,716	
純利益	△234,020	41,425	275,445	
資本的収入	209,325	34,090	△175,235	
長期貸付金償還金	46,798	34,090	△12,708	
雑収入	162,527	—	△162,527	川上発電所撤退に伴う精算金の皆減
資本的支出	596,942	710,179	113,237	
建設改良費	49,979	215,194	165,215	三瀬谷発電所改良費の増
償還金	546,963	494,985	△51,978	
資本的収支差額	△387,617	△676,089	△288,472	

##### (RDF焼却・発電事業)

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成23年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	884,459	843,606	△40,853	
附帯事業収益	884,209	843,378	△40,831	RDF搬入量の減
営業外収益	250	228	△22	他会計補助金の減
収益的支出	1,143,173	1,076,138	△67,035	
附帯事業費用	1,142,637	1,075,739	△66,898	管理運営委託料の減
営業外費用	536	399	△137	支払利息の減
収益的収支差	△258,714	△232,532	26,182	
純利益	△261,638	△236,726	24,912	
資本的収入	—	—	—	
資本的支出	7,088	7,972	884	
建設改良費	205	953	748	備品購入の増
償還金	6,883	7,019	136	
資本的収支差額	△7,088	△7,972	△884	

## (2) 主要事業の主な内容

### ①計画的な施設改良の推進

予算額 111,989 千円

将来にわたり電気の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、発電所などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、主要施設の耐震化対策を重点的に進めるとともに、耐用年数を経過した電気・計装・機械設備の更新等を実施していきます。

(耐震化対策) 15,750 千円

・大和谷発電所他橋梁耐震補強工事 15,750 千円

(その他) 96,239 千円

・青田発電所導水路道路擁壁補修工事 36,124 千円 他

### ②「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

予算額 269,083 千円

長期経営ビジョンに基づき、水力発電事業の民間譲渡の取組を進めます。

(水力発電事業の民間譲渡) 269,083 千円

今後も継続して安定的に発電ができるよう、必要な修繕や改良等を行います。

・施設整備関係(修繕・改良) 168,856 千円

・PCB含有主要変圧器取替等 59,351 千円

・用地測量調査委託 23,628 千円 他

### ③環境・地域への貢献

予算額 30,000 千円

地域社会の一員として「企業の社会的責任(CSR)」を果たすため、地球温暖化対策などの環境に配慮した事業活動や地域貢献活動に積極的に取り組みます。

このため、引き続き、環境森林部が実施している水源涵養林整備の取組に参画し、森林の保全・再生等に取り組みます。

・水源涵養林整備事業 30,000 千円

### Ⅲ 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について

#### 【議案第39号関係】

#### 1 改正理由

北中勢水道用水供給事業の北勢長良川水系の全部給水開始等に伴い、施設整備費を料金に算入する必要があることから、基本料金の料率を改定すること等の規定の整備を行うため、三重県水道供給条例の一部を改正します。

料金の改定については、下表のとおりです。

事業		料金種別等		現行	新料金(案)	差額(円)
北中勢水道	北勢	長良川水系 (亀山市の区域以外の区域に係るもの)	基本料金 (円/㎡・月)	1,400	2,560	+1,160
			使用料金 (円/㎡)	39	39	0
			超過料金 (円/㎡)	180	180	0
	長良川水系 (亀山市の区域に係るもの)	基本料金 (円/㎡・月)	3,130	2,750	△ 380	
		使用料金 (円/㎡)	39	39	0	
		超過料金 (円/㎡)	180	180	0	

#### 2 改定時期

平成23年4月1日から施行する。

#### 【参考】 他事業の料金

(平成22年4月1日から適用)

事業		料金種別等			
		基本料金 (円/㎡・月)	使用料金 (円/㎡)	超過料金 (円/㎡)	
北中勢水道	北勢	木曾川用水系	670	39	180
		三重用水系	2,930	39	180
	中勢	雲出川水系	1,000	39	180
		長良川水系			
南勢志摩水道		1,070	39	180	

# I 公的資金にかかる補償金免除繰上償還の実施について

## 1 概要

地方公営企業が、国や地方公共団体金融機構（旧公営企業金融公庫）から借り入れた5%以上の高金利企業債の金利負担を軽減するため、国において平成19年度から21年度まで臨時的に、公的資金を補償金なしで繰上償還することを受け入れる制度が実施されてきましたが、深刻な地域経済の低迷などの事態を踏まえ、平成22年度から24年度までの3年間延長されることとなりました。

## 2 制度の活用

当該制度の活用にあたっては、地方公営企業は前回と同様に公的資金補償金免除繰上償還に係る経営健全化計画を策定し、国と協議したうえで、これを議会に報告し県民に公表していく必要があります。

企業庁では、水道及び工業用水道事業の繰上償還について、平成22年12月に国との協議が整いましたので、その概要をこの場において報告し、県民に公表したうえで、繰上償還を行ってまいりたいと考えています。

## 3 繰上償還実施予定額

企業庁においては、その実施要件により水道事業は5%以上、工業用水道事業は6%以上の高金利企業債がそれぞれ繰上償還の対象となります。

水道事業では、4億2千万円余、工業用水道事業では11億5千万円余の繰上償還を予定しています。

(単位：百万円)

会計及び資金名	H22	H23	H24	計
水道事業	148	70	204	422
旧資金運用部資金	148	70	204	422
旧公営企業金融公庫資金	-	-	-	-
工業用水道事業	980	173	-	1,153
旧資金運用部資金	476	173	-	649
旧公営企業金融公庫資金	504	-	-	504
計	1,128	243	204	1,575
旧資金運用部資金	624	243	204	1,071
旧公営企業金融公庫資金	504	-	-	504

※繰上償還の実施時期

旧資金運用部資金 H22：年利6.3%以上、H23：年利6.0%以上6.3%未満、H24：年利5.0%以上6.0%未満

旧公営企業金融公庫資金 H22：年利6.0%以上、H23：年利5.5%以上6.0%未満、H24：5.0%以上5.5%未満

○繰上償還の実施要件

対象利率	水道事業	工業用水道事業
7%以上	実質公債比率15%以上、又は経常収支比率85%以上 又は財政力指数が0.5%以下の団体の公営企業	
6%以上7%未満	将来負担比率：219.3以上 又は 資本費：52円以上	将来負担比率：219.3以上 又は 資本費：8.6円以上
5%以上6%未満	将来負担比率：263.1以上 又は 資本費：62円以上	将来負担比率：263.1以上 又は 資本費：10.3円以上

三重県の財政指標 (H21)

実質公債比率	12.7
経常収支比率	94.1
財政力指数	0.61456
将来負担比率	198.5

企業庁の資本費 (H21)

水道	67.5円
工業用水道	8.7円

※下線部分は、企業庁が充たしている要件を示しております。

※資本費の算出方法

水道事業：(利息+減価償却費) / 有収水量

工業用水道事業：(利息+減価償却費) / 現在配水能力

#### 4 平成24年度までの繰上償還実施額と利息軽減額

平成19年度から平成24年度までの6年間の繰上償還総額は、138億2千万円余、借換債に係る利息を除いた利息軽減額は、29億1千万円余となる見込みです。  
(単位：百万円)

会計及び資金名	H19～H21		H22～H24		合計 (H19～H24)	
	繰上償還額	利息軽減額	繰上償還額	利息軽減見込額	繰上償還額	利息軽減見込額
水道事業	12,083	2,533	422	122	12,505	2,655
旧資金運用部資金	6,292	1,677	422	122	6,714	1,799
旧公営企業金融公庫資金	5,791	856	-	-	5,791	856
工業用水道事業	164	21	1,153	238	1,317	259
旧資金運用部資金	-	-	649	150	649	150
旧公営企業金融公庫資金	164	21	504	88	668	109
計	12,247	2,554	1,575	360	13,822	2,914
旧資金運用部資金	6,292	1,677	1,071	272	7,363	1,949
旧公営企業金融公庫資金	5,955	877	504	88	6,459	965

※利息軽減額及び見込額は、繰上償還に伴う借換債の利息を除いております。

※H22～H24の繰上償還の財源は全額自己資金を充当します。

#### 5 公的資金補償金免除繰上償還に係る経営健全化計画の概要

##### (1) 基本方針

企業庁の公的資金補償金免除繰上償還に係る経営健全化計画は、平成26年度までの5カ年を計画期間とし、平成19年11月に策定し公表した「三重県企業庁長期経営ビジョン（平成19～28年度）」とその実行計画である「第1次中期経営計画（平成19～22年度）」及び現在策定中の「第2次中期経営計画」（平成23～26年度）の取組に基づくものであります。

##### (2) 経営の効率化に対する主な取組

水道及び工業用水道事業については、これまでの施設整備の影響により、給水原価が全国平均よりも高い状況にあります。また、今後、大規模地震時に備えた耐震化対策や施設の老朽劣化対策などを引き続き進める必要があります。

このため、経済的な工法の積極的な採用などのハード面と、新規企業債の発行抑制や高金利企業債等の繰上償還による利息負担の軽減、技術管理業務の民間委託の拡大などソフト面の両面から、経営の効率化に対する取組を進めていきます。

##### ① 経営基盤強化の取組

###### ア 組織運営方針

本庁及び地域機関において、「企業庁のあり方に関する基本的方向」や、重点的な取組に対応した柔軟で効率的な組織体制を整備します。

また、組織改正及び定員管理の取組としては、企業庁の業務の変化に適切に対応し、「安全・安心・安定」供給の実現と非常時の危機管理に配慮しながら、最小の人員で最大の効果を得るための組織体制を柔軟に整備します。

###### イ 財務運営方針

今後予想される厳しい経営状況に対応し、効率的な財務運営に取り組むため、自己資本の充実、利息負担の軽減、企業債の発行抑制、内部留保資金の確保と活用等、各事業において計画的で統一的な財務運営を行います。

## ② 効率的な事業執行

### ア 計画的な施設改良の推進

将来予想される大規模地震に備えるため主要施設の耐震化対策を重点的に実施するとともに、耐用年数を経過した電気・計装・機械設備の更新を実施します。

### イ 技術管理業務の包括的な民間委託の推進

限られた経営資源のもとで、将来にわたって安全で安心な水道用水及び良質な工業用水を安定して供給するためには、民間活力の導入をはかり、官民が適正な役割分担のもと一体となって事業の持続可能性を高める必要があります。このため、浄水場等における技術管理業務の包括的な民間委託について、これまでの運営状況の検証を踏まえ、段階的な導入や委託範囲の拡大をはかっていきます。

## (3) 収支計画及び長期債務残高

経営健全化計画における平成22年度から平成26年度の収支計画及び長期債務残高の見込みは以下のとおりです。

### 【水道事業】

#### ①収支計画

(単位:百万円)

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的 収支	営業収益	9,875	9,408	9,397	9,387	9,390
	営業外収益	192	208	290	293	221
	特別利益	-	-	-	-	-
	収入計	10,067	9,616	9,687	9,680	9,611
	営業費用	7,812	7,420	7,598	7,485	7,535
	営業外費用	1,286	1,206	1,132	1,053	904
	特別損失	5,435	1,930	-	-	-
	費用計	14,533	10,556	8,730	8,538	8,439
	純利益	△4,466	△940	957	1,142	1,172
資本的 収支	企業債	178	-	-	-	-
	補助金	138	-	-	-	-
	出資金	2,122	2,069	2,065	1,262	1,209
	その他収入	5	1,757	167	212	338
	収入計	2,443	3,826	2,232	1,474	1,547
	建設改良費	1,722	1,912	2,700	3,275	2,840
	償還金	5,701	7,398	5,068	3,917	3,748
	支出計	7,423	9,310	7,768	7,192	6,588
	資本的収支不足額	△4,980	△5,484	△5,535	△5,718	△5,041
資金 収支	前年度末内部留保資金	13,456	13,354	12,527	11,670	10,871
	純利益	△4,466	△940	957	1,142	1,172
	当年度分損益勘定留保資金等	9,422	5,597	3,721	3,777	3,792
	資本的収支不足額	△5,058	△5,484	△5,535	△5,718	△5,041
	単年度資金収支	△102	△827	△857	△799	△77
	当年度末内部留保資金	13,354	12,527	11,670	10,871	10,794

※収益的収支は税抜き。資本的収支は税込みで記載しています。

※四捨五入のため合計が合わない場合があります。

#### ②長期債務残高

(単位:百万円)

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
企業債	年度末残高	47,773	40,561	35,668	31,935	28,381
水資源機構 割賦負担金	年度末残高	1,325	1,164	995	816	628
合計		49,098	41,725	36,663	32,751	29,009

## 【工業用水道事業】

### ①収支計画

(単位:百万円)

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収益的 収支	営業収益	5,969	5,999	5,982	5,982	5,982
	営業外収益	58	39	31	31	31
	特別利益	18	8	-	-	-
	収入計	6,045	6,046	6,013	6,013	6,013
	営業費用	4,719	5,073	5,055	5,119	5,130
	営業外費用	614	558	435	407	380
	特別損失	29	32	48	46	46
	費用計	5,362	5,663	5,538	5,572	5,556
	純利益	683	383	475	441	457
資本的 収支	企業債	1,247	1,225	585	418	197
	補助金	188	251	385	275	130
	出資金	1,261	1,211	1,191	1,211	1,231
	その他収入	18	3	-	-	-
	収入計	2,714	2,690	2,161	1,904	1,558
	建設改良費	2,611	3,116	4,116	3,647	3,715
	償還金	4,556	3,738	2,233	2,047	2,071
	支出計	7,167	6,854	6,349	5,694	5,786
	資本的収支不足額	△4,453	△4,164	△4,188	△3,790	△4,228
資金 収支	前年度末内部留保資金	14,268	12,862	11,426	10,024	9,025
	純利益	683	383	475	441	457
	当年度分損益勘定留保資金等	2,364	2,345	2,311	2,350	2,420
	資本的収支不足額	△4,453	△4,164	△4,188	△3,790	△4,228
	単年度資金収支	△1,406	△1,436	△1,402	△999	△1,351
	当年度末内部留保資金	12,862	11,426	10,024	9,025	7,674

※収益的収支は税抜き。資本的収支は税込みで記載しています。

※四捨五入のため合計が合わない場合があります。

### ②長期債務残高

(単位:百万円)

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
企業債	年度末残高	21,285	20,385	19,022	17,693	16,135
水資源機構 割賦負担金	年度末残高	3,464	1,899	1,622	1,331	1,024
合計		24,749	22,284	20,644	19,024	17,159